

西川町 議会だより

2026

No.135

1.15



新年のごあいさつ	2頁
第4回定例会	3
6人の議員が町政をただす	6
特集ハラスメント疑惑調査特別委員会	10
事務事業評価	12
議会活動の成果を政策提言に	14
突撃インタビュー	16

令和7年12月13日(土)に
しかわ保育園で「ぶなのもり発
表会」を行いました。

写真は、年中・たいよう組の
とっても可愛い劇「てぶくろ」の
発表の様子です。



*上記二次元コードを
スマートフォンな
どで読み取ると、
議会ホームページ
にアクセスします。

第4回定例会 啓翁桜議会議案

ここに
注目

補正後の予算総額**92億8972万円**

遭難活動補助金 43万円

問 月山朝日山岳遭難対策活動補助金の内容はどのようなものですか。

答 素早い遭難救助活動を行うために、保険加入の体制整備を行うものです。



見守り対策給付金 150万円

問 見守り対策移動販売事業者支援給付金は、当初予算でないのは、どのような主旨ですか。

答 事業者の方からは、買い物支援を含め通年にわたって、見守り活動を実施していただいているが、申請後に予算補正しています。



公務災害 15万円

問 公務災害補償費の内容と今後の対策をどのように考えていますか。

答 土木作業員の熱中症です。今後の対策としては
 ①作業前体調確認
 ②水分塩分の補給
 ③通気性の良い服装着用
 ④暑さ指数を把握した作業実施
 ⑤休憩時間の確保
 ⑥複数の作業員での実施
 などにて防止していきます。



空き家除去支援 150万円

問 空き家除去支援事業補助金は何件の利用実績となっていますか。

答 一軒当たり50万円の補助金で、10件の利用実績、加えて3件の申請相談がありますので補正いたしました。



空き家除去の支援は？

遭難救助の活動は？

公務災害の対策は？

子育て世帯の入居は？

住宅条例の設定

問 みどり住宅条例の設定で当町で大切な子育て世帯の入居者を優先する考えはありますか。

答 条例では設定していませんが、入居者を選定する際には優先することを考えて対応いたします。



災害復旧費 5000万円

問 9月17、18日の豪雨により発生した災害復旧費は、公共土木災害に該当しなかったのですか。

答 申請する測量設計費用が経費よりもオーバーするので、スピード対応を優先しました。



そ、ま、じ、が、聞、き、た、い

6人の議員が町政をただす



さとう ひとし 佐藤 仁 議員

道の駅にしかわ整備計画

道の駅にしかわの地ビール醸造・体験施設で計画変更の説明が9月定例議会時にありました。しかし方針をお聞きしました。



▲計画のあった施設外観

※町施設「EDO化についても質問しました。

6人の一般質問



さとう だい 佐藤 大 議員

今後の継続

答 基礎を含む構築物リフト支柱の耐用年数は何年ですか。
あと3年です。としては45年で、月

答 町は昭和58年にスキー場を開設し、直営で営業していましたが、平成15年にリフト事業の経営権を、月山観光開発株に無償譲渡しました。その後は一定の補助金で運営支援を行ってきました。斯キー場や関連施設の維持管理は、現場管理者である同社の要請を受け、町が年度ごとに予算措置を行っています。

答 続続には会社と町の対話と覚悟しかありません。どのようない支援をしていくのか、どちらほどの予算が必要なのか所管の部局で検討し、合意されたら財政部門は全力で資金を取りに行きます。支援の意思があつても経営権のある運営会社に判断する権利がありますので、約束したことは書面を交わすことも必要かと思います。

問 町がスキー場施設を所有し、民間の運営会社が営業をしていますが、どういった役割になっていますか。

答 提出されていません。このため町は支援計画を策定する段階ではありません。

スキー場の経営

問 運営会社から「中期的修繕計画」は提出されていますか。また、町は「中期的支援計画」を策定していますか。

町民スキー場の運営は

質問事項（発言順）

佐藤 大 議員P7

1 町民スキー場の運営について

佐藤 仁 議員P7

1 今後の町施設の整備計画と維持管理について

佐藤 耕二 議員P8

1 高齢者世帯等除雪支援事業について

佐藤 光康 議員P8

1 町の財政について

2 町立病院の外来受診と入院時のテレビ等の利用について

荒木 俊夫 議員P9

1 人口対策について

2 農地の確保と農業の担い手対策について

大泉 奈美 議員P9

1 地域力と住民パワーを活かした防災力をどう進めるか

2 来年度に向けた町のスポーツ全般の政策について

町政全般にわたり、今回の第4回定例会では6人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお伝えします。一般質問です。の課題等について町の考え方や疑問をただすのが一般質問です。



さとう だい 佐藤 大 議員

今後の継続

答 基礎を含む構築物リフト支柱の耐用年数は何年ですか。
あと3年です。としては45年で、月

答 町は昭和58年にスキー場を開設し、直営で営業していましたが、平成15年にリフト事業の経営権を、月山観光開発株に無償譲渡しました。その後は一定の補助金で運営支援を行ってきました。斯キー場や関連施設の維持管理は、現場管理者である同社の要請を受け、町が年度ごとに予算措置を行っています。

問 町がスキー場施設を所有し、民間の運営会社が営業をしていますが、どういった役割になっていますか。

答 提出されていません。このため町は支援計画を策定する段階ではありません。

スキー場の経営

問 運営会社から「中期的修繕計画」は提出されていますか。また、町は「中期的支援計画」を策定していますか。

町民スキー場の運営は

佐藤 大 議員P7

1 町民スキー場の運営について

佐藤 仁 議員P7

1 今後の町施設の整備計画と維持管理について

佐藤 耕二 議員P8

1 高齢者世帯等除雪支援事業について

佐藤 光康 議員P8

1 町の財政について

2 町立病院の外来受診と入院時のテレビ等の利用について

荒木 俊夫 議員P9

1 人口対策について

2 農地の確保と農業の担い手対策について

大泉 奈美 議員P9

1 地域力と住民パワーを活かした防災力をどう進めるか

2 来年度に向けた町のスポーツ全般の政策について

*第4回定例会の傍聴者は延べ9人でした。また、議会中継でご覧いただいた皆さん、ありがとうございました！

町民と議会の対話の集い



スポーツ団体のみなさんと

西川エクササイズ

★参加者から

スポーツ推進委員で広めるように言われています西川エクササイズが、よく理解できていません。

☆議会から

西川エクササイズはタブレットで見られます、容量が少ないと見られない所があります。

作って補助金をもらうと終わりではなく、普及することが目的ですから、行政側に話をします。

カヌー

★参加者から

西川町カヌー協会は山形県カヌー協会と一緒に活動しています。西川町から強い選手が出るのは、旧沼山小学校で子どもたちのカヌー教室をやったおかげかと思います。カヌーセンターを有効利用するために、県の協会と一緒に頑張って行こうと思います。

☆議会から

カヌー艇庫が出来ましたが、湖月山荘の車庫がないと資材が置けないですか。

また、部活動の地域移行にあたり、カヌーをやりたい町外の子どもたちを受け入れて部活動をやってもらう考えはありますか。

★参加者から

湖月山荘はレーンの浮きとかモーターボートを置いています。

地域移行については、一昨年より県カヌー協会の寒河江西村山管内で作っているクラブに加入していただければと思います。

活発なご意見ありがとうございました。



令和7年11月17日にスポーツ団体のみなさんと対話の集いを開催し、多くのご意見をいただきました。今回の議会だよりでは、対話の集いで主な意見等を紹介します。



町民スキー場

★参加者から

町民スキー場は「今年度の営業はします」と聞いていますが、突然できないと、月山観光開発(株)から申し入れがあったことを聞いた時はショックでした。今後も継続できる対策を考えてほしいと思います。

★参加者から

教育委員会では、町のスポーツ振興は「カヌーとスキー」と言っています。いまさら無くすことは無い。スキー場は残してもらいたいと考えます。

☆議会から

町にはリフトの運行管理者がいないので、月山観光開発(株)に頼むしかありません。やらないことは突然聞いたので詳細は分かりません。

今後追及していくたいと思います。

☆議会から

リフトの設備は町所有ですが、営業権のある月山観光開発(株)がリフトを動かさないと運営できません。町からは660万円の索道補助金を出しています。採算が合わないからやめると言っているのかもしれません、町との折り合いがつかなければスキー場は成り立たなくなります。

地域移行

★参加者から

部活動の地域移行は、「町も議員も支援する」「町財政として予算を組む」「補助金があれば、獲得して回す」そんなやり方で、やるという気持ちになっていたいと思います。

特集ハラスメント疑惑調査特別委員会報告

委員長報告

9月と10月に現・元町職員、町民、議員の方、計16人の証人尋問を行いました。これらを受け、役場庁舎内で10月30日に菅野町長の証人尋問を実施しました。傍聴人44名が見守る中、10時から16時までの長時間に渡る証人尋問になりました。

これまでに20回の特別委員会を開催してきましたが、現在は証人尋問の内容と前段に実施したアンケート内容を精査しているところです。

調査結果は、2月中に報告できるよう進めています。

委員長 佐藤 耕二

経過

10月 21 日	第12回ハラスメント疑惑調査特別委員会 証人尋問内容の検討
10月 27 日	第13回ハラスメント疑惑調査特別委員会 証人尋問内容の検討
10月 30 日	第14回ハラスメント疑惑調査特別委員会 町長の証人尋問
11月 7 日	第15回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容を精査
11月 11 日	第16回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容を精査
11月 17 日	第17回ハラスメント疑惑調査特別委員会 飯野委員の委員辞職について
11月 25 日	第18回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容を精査
12月 9 日	第4回定例会 ハラスメント疑惑調査特別委員会補正予算 可決
12月 12 日	第19回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容の精査及び報告書協議
1月 13 日	第20回ハラスメント疑惑調査特別委員会 調査内容の精査及び報告書協議

連絡先

ハラスメント疑惑調査特別委員会に対する町民からのご意見は、下記の議会事務局メールで承ります。

giji@town.nishikawa.yamagata.jp

おおむね適正、しかし課題あり

議会による今年度の行政評価は、6年度に町が実施した事業のうち9事業について4つの視点ごとに各15点、合計60点満点で評価しました。

その結果を掲載します。評価に関する意見を記した評価シートは、議会ホームページに掲載しているほか議会事務局で閲覧可能です。



評価のための4つの視点

必要性

- ・町民に必要な事業か
- ・社会情勢から実施が適切か
- ・町が主体となって関与すべきか

妥当性

- ・他事業とサービスが重なっていないか
- ・他自治体と比べ適切か
- ・町民目線として適切か

効率性

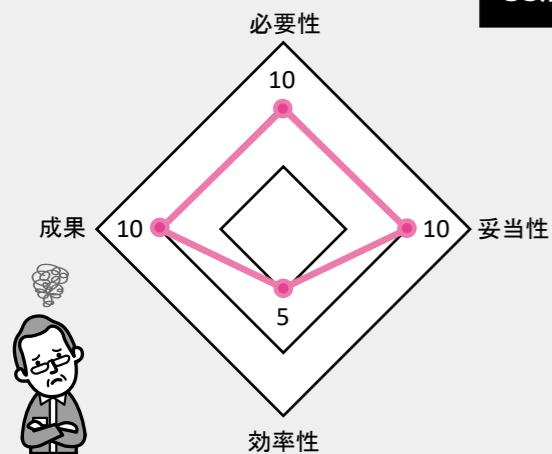
- ・事業の手法は効率が良いか
- ・受益者負担は適正か
- ・コスト削減の余地はないか

成 果

- ・事業の目的が達成されているか
- ・前年以前と比較し成果は上がっているか

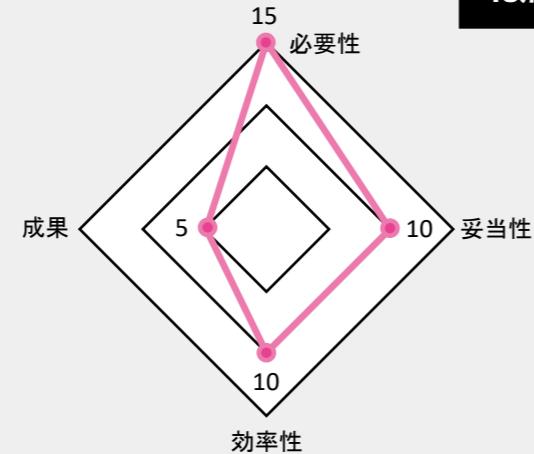
① 移住定住

35点



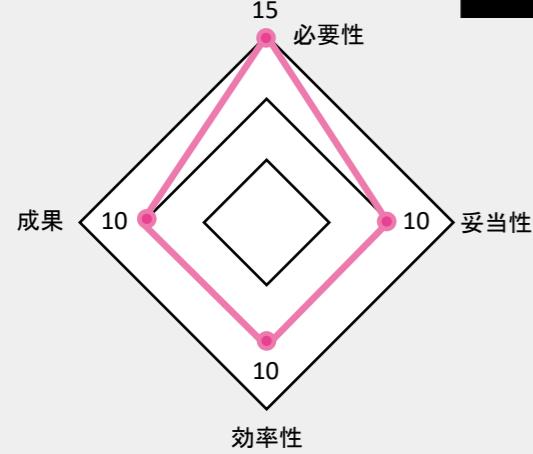
② 豪雪地帯安全確保緊急対策

40点



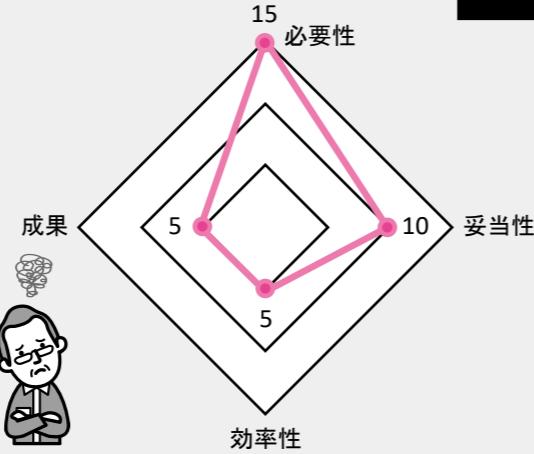
③ 高齢者世帯等除雪支援

45点



④ 交流センターあいべ管理運営

35点



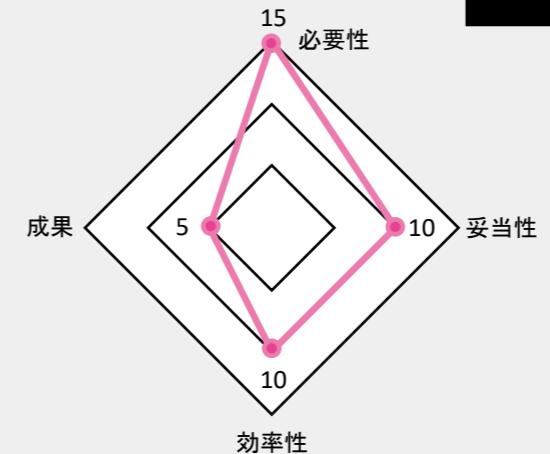
評価及び提言の目的

議会が担っている行政の取組みをチェックする機能を果たし、更には議員による政策形成を進め町の施策推進に寄与するために、西川町議会基本条例(平成25年3月町条例第13号)に基づき、事務事業評価及び政策提言を行います。

令和6年度事業
行政評価
【事務事業評価】

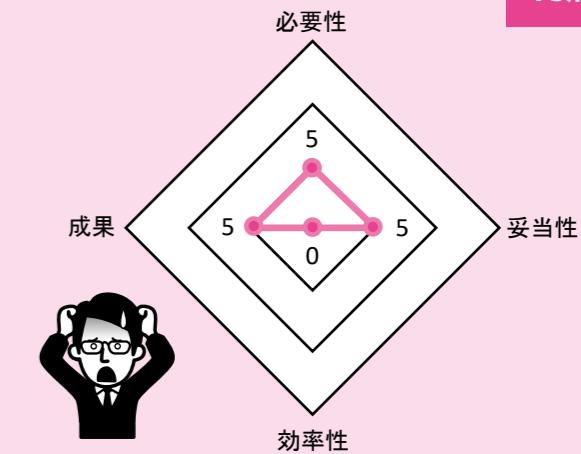
⑤ 農業振興担い手育成

40点



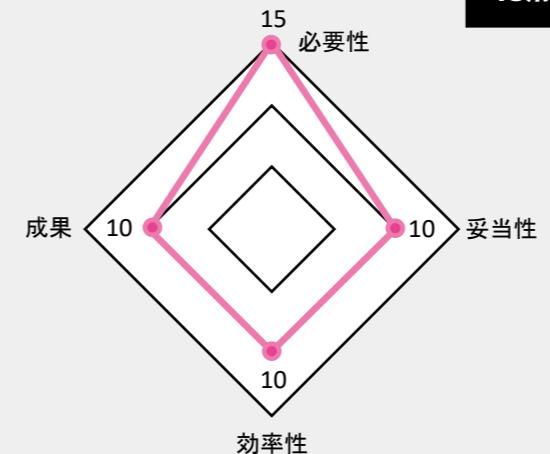
⑥ 仁田山放牧事業

15点



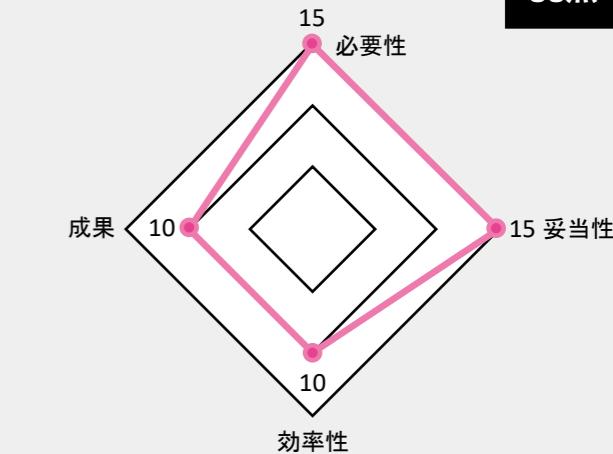
⑦ 西川町かせぐ事業

45点



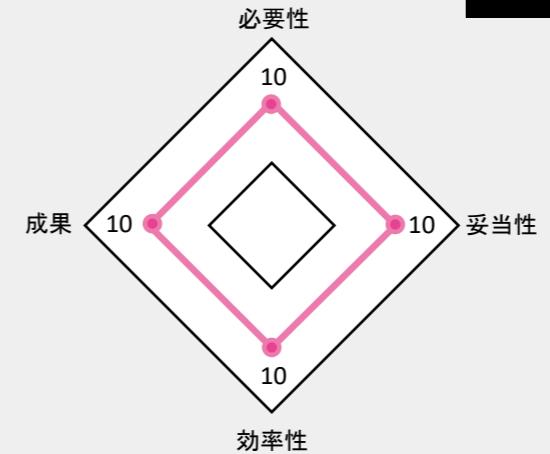
⑧ 寒河江ダム関係

50点



⑨ マイロード整備

40点



主なコメント

総務厚生・産業建設常任委員会で各事業が適正に実施されているのか現地確認を行って、必要・効率・妥当性を検討評価いたしました。

- ① 売買・賃貸契約等の業務は、専門家に委ねるシステムが必要である。
- ④ 月山朝日観光協会に委託しているが、管理運営の経費が妥当か不明である。
- ⑤ 農業人フェア以外での声掛けなど拡充した取り組みが必要である。
- ⑥ 経営にかかる費用が収入より大幅に上回っており、効率が悪く、町内に受益者がいないことから、政策提言といったしました。15ページをご覧ください。
- ⑧ 大噴水の認知度も高く、カヌーセンターがオープンして新たなアクティビティに誘客も期待できるが、水の文化館・湖月山荘の利用方法を考えるべきである。

令和7年度 政策提言

放課後子ども教室・病弱学級について



▲11月27日、菅野町長に政策提言を提出

I 提言の背景・趣旨

町は人口減少・少子高齢化対策については積極的に各施策を進めています。第7次西川町総合計画でも第3章で「出産・子育てしやすい地域を本気で目指す」と謳っています。しっかりと計画に沿いながら、子育て世代が住みやすいまちづくりが重要で、そのためには子育て環境の整備が必要の条件であります。

II 提言内容

1. 放課後子ども教室の充実
 安全安心な子供の居場所づくりと、保護者の働き環境づくりを実現します。子育てするなら西川町を目指し提言します。

2. 病弱学級の支援体制の充実
 障害があるなしに関係なく多くの子供が一緒に学べることは、人

額する必要があります。教室が狭く、30～40人を受け入れるには学校の有効活用を図る必要があります。

(1) 放課後子ども教室
 (1) 放課後子ども教室は、所づくりと、保護者の働き環境づくりを実現しています。また、保護者にとっては小学校

の職員の給与や職員数の確保も重要です。このような施策の一つ一つが、人口対策と少子化対策に有効な事業です。

(2) 充実した活動を行う
 ために、事務費等を増額する必要があります。

議会活動の成果を提言に

間形成や人を思いやる心や互いに助け合える社会づくりに大きく貢献すると考えます。西川小学校では、人を思いやれる心が育つています。今後も継続すべく事業であります。また、義務教育なので町だけではなく国・県へも強く携わる職員の待遇改善を図る必要があります。

仁田山放牧場について

I 提言の背景・趣旨

仁田山放牧場は、昭和44年に完成し、翌年の45年から放牧を開始して以来、55年という長きにわたり牧場の設置目的である「本町における畜産の振興を図りました。しかし近年においては、畜産農家の減少により放牧頭数の減少化が進んでいます。

また、令和6年度の放牧許可頭数は47頭であり、地域別では西川町30頭、朝日町12頭、寒河江市5頭でした。

令和7年度は、下牧前の視察時点では朝日町の11頭のみで、当町の利用頭数は0頭というのが現状であり事業の見直しが必要と考えます。

II 提言内容

仁田山放牧場に要する経費について、事務事業評価及び現地視察を行ったうえで、次のとおり提言いたします。

1. 設備や事業について
 (1) 近年は放牧受け入れ頭数の減少に歯止めが掛かっておらず、また、町内唯一の畜産関係者においては、今後放牧の予定がないなどを踏まえ、閉牧も含めた判断が必要な時期と考えます。

2. 施設の活用について
 (1) ベゴッコ館などの現

在ある施設建物の新たな活用方法により、素晴らしい自然環境を生かした環境整備ができる工夫などをしているとの説明がありました。今後の編集の参考になつた研修でした。

3. 放牧の活用について
 (2) 事業維持には、年間1000万円近くの経費が掛かり、また、施設の老朽化も進んでおり、特に電気・水道施設の更新には1500万円以上必要との試算もあることから、閉牧も含めた判断が必要な時期と考えたい。

また、令和6年度の放牧許可頭数は47頭であり、地域別では西川町30頭、朝日町12頭、寒河江市5頭でした。

令和7年度は、下牧前の視察時点では朝日町の11頭のみで、当町の利用頭数は0頭というのが現状であり事業の見直しが必要と考えます。

広報広聴常任委員会研修リポート



▲研修の様子

議会の動き

議会全員協議会

令和7年10月20日(木)
山形県川西町に行つきました。

「かわにし議会だより」は全国コンクールで平成22年から、15年連続

表彰されています。

編集にあたつては編集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月3日

バイオマス発電施設の整備ほか

は

平成22年から、15年連続

表彰されています。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

11月25日

令和7年第4回定例会の協議

は

第4回定例会に追加議案の協議

が

行われました。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月5日

令和8年度第1回臨時会の協議

は

行われました。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月25日

令和8年所管事務等について

は

行われました。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月25日

令和8年所管事務等について

は

行われました。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月25日

令和8年所管事務等について

は

行われました。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月25日

令和8年所管事務等について

は

行われました。

編集にあたつては編

集計画に従つて作成さ

れていました。町民か

らの意見収集は、イベ

ント会場でのインタビ

ュー、文章・写真アドバ

イザーから助言をいた

だき、見出しで読ませ

る工夫などをしている

との説明がありました。

今後の編集の参考になつた研修でした。

議会運営委員会

12月25日



突撃インタビュー



啓翁桜生産者
志田 修さん
(弓張平)



平成12年から啓翁桜づくりをしました。6~7万本を生産していますが、10万本出荷を目指します。西川町が日本一の啓翁桜産地を継続できるように頑張ります。

農業者(花卉・果樹ほか)
東京都出身
閑家 広さん(熊野)



地域おこし協力隊の任期を終え西川町に移住し、令和6年から桃を植栽し令和9年からの出荷を目指します。また、ワイン用ぶどうは8年に植栽予定で、夏はつるむらさきの出荷、啓翁桜は7年から出荷し将来は2haの栽培を目指します。

入間のそば祭りにて
大泉 美代さん
(入間)



サロンdeいりまるでスタッフをしています。
今年も元気に、楽しく地域の事業に参加できたら良いと思います。

西川小学校校長
林 敏幸さん



昨年は大雪に始まり、熱中症とか熊であるとか、インフルエンザの流行とか、危機対応の難しい年でした。幸い子どもたちは元気に健やかに育っています。今年は穏やかな年になればよいと思っています。
町民スキー場は存続していただきて、子どもたちの楽しみのスキーが存分にできるようになることを祈っています。



今年の発表会のオープニングは、年長(そら組)17人による獅子舞と和太鼓で始まりました。続いて年少(かぜ組)16人によるお遊戯、「てふくろ」、年長(そら組)17人によるオペレッタ風劇『さんまいのおふだ』そして、エンディングは全員で、歌『ほよよん行進曲』を発表してくれました。練習した成果を家族の方々からも見守られ楽しく、そして素晴らしい発表会でした。

表紙
から

1コマ



編集後記

明けましておめでたのじや

い
ます。
12月定例会は、西川町が日本一の生産量を誇る啓翁桜に包まれ、桜模様のネクタイとポケットチーフをしてスマートを身に着け、「啓翁桜議会」として開催されました。生産者の皆さんにご尽力いただき感謝申し上げます。

さて、昨年は、異常気象による猛暑、そして9月の豪雨による災害など大変な年でした。

今年は午年で、午は活力・情熱・行動力の象徴とされています。西川町議会も明るく前向きにエネルギー溢ぎの気持ちで活動していきます。皆さんにとって実り多い年になりますようご祈念いたしました。

(佐藤仁)

委員長	議長	《発行・編集責任者》
副委員長		《編集委員》
佐藤 大泉	飯野 菅野邦比克	
佐藤 奈美	幹夫	
大仁		